

学校名	福島県立会津西陵高等学校	校長	阿部 学
住所	福島県大沼郡会津美里町字法幢寺北甲3473番地		
TEL	0242-54-2151	URL	https://aizuseiryō-h.fcs.ed.jp/



『友と学び ともに鍛えん』

～郷土を愛し、活力ある地域づくりに貢献する人材を育てる～

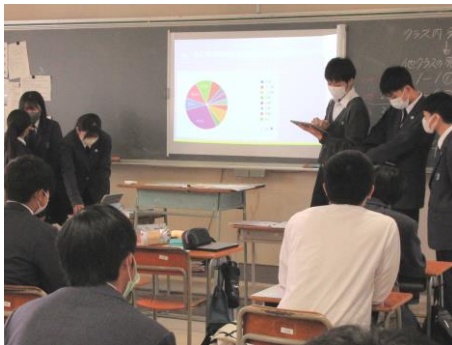
本校は会津盆地の南西部、会津美里町にあります。会津美里町は豊かな田園の広がる旧新鶴村、本郷焼と東日本最大級の山城「向羽黒山城」を有する旧会津本郷町、そして会津文化発祥の地である伊佐須美神社の門前町として栄えた旧会津高田町からなっています。また、旧大沼高校と旧坂下高校の統合校である本校は、江戸時代から阿賀川を利用した水運、物流の中心地として栄えた商業都市の会津坂下町に旧坂下高校があったことから、この会津盆地西部を学びのフィールドとしています。本校の教育目標では、目指す生徒の将来像として「郷土を愛し、活力ある地域づくりに貢献できる人物」とし、地域課題探究学習に取り組んでいます。

取組の概要

統合前の旧大沼高校、旧坂下高校時代からそれぞれ地域の課題を取り上げて探究学習が行われてきましたが、統合でさらに両校のよさを組み合わせて発展的な取組ができるように進めています。生徒が取り上げる課題は、「観光」「災害対策」「定住」「少子高齢化」「子育て支援」「町内の美化・ゴミ問題」など様々です。活動の中で生徒達は主体的に思考・行動する力、協働力、表現力、コミュニケーション能力を高めていきます。また「地域を学ぶ」ことで、地域の一員としての自己の有用感、肯定感につながり、地域への郷土愛も生まれます。地方のあり方に興味を持ち、卒業後に行政の仕事や地域貢献を目標とした職を目指す生徒も増えました。

内容(取組例:1年生基礎編)

1年生では探究学習を進める上で必要なコミュニケーションの取り方や情報収集・分析の基礎をまず学習します。協働に向けた様々なソーシャルスキルトレーニングの実践をとおして、意見交換や共通理解を図る練習をします。また、情報の収集・分析の方法を学ぶために、様々なアンケートを実施し、分析します。先日はそのアンケートの分析結果の発表会が行われました。



(令和4年10月13日 発表会の様子)

今後の展開

SDGsも視野に入れ、「グローバル」な視点を持ちながら、地方から世界に発信するまでの力を身に付けるために、生徒たちが知識・技能、思考・判断・表現、学びに向かう態度をバランスよく伸ばしていけるよう、サポートしていきたいと考えています。

取組後の生徒の声

- ・ 自分から行動する力と班の人と協力していいものを完成させようとする力が身に付きました。
- ・ 探究を通して改めて町の厳しい現状を知り、町のために何かしたいと強く思うようになりました。探究活動がなかったらこのように考えることはなかったのかなと思いました。
- ・ 自分の意見を言うことがどれだけ難しいかを知りました。考えはあるのに使う言葉がわからない、上手く伝わらないなど、もどかしさがたくさんありました。また、深く考えるにはたくさんの知識が必要で、知識がないとたくさんの壁にぶつかることがわかりました。

内容(取組例:上級生実践編)

福島県内外の高校7校と協働して、「只見線全国高校生サミット」という事業に参加しています。この事業では只見線の利活用・活性化を目指した提案をし、実現することで只見線の復興をサポートしていきます。



(只見線キャラクター「キハちゃん小皿」)

今年10月1日に再開通した際には、只見線を盛り上げるグッズとして

「キハちゃん小皿」の製作を企画しました。製作にあたっては、会津美里町の協力で令和4年度鉄道利用促進事業助成金を利用しました。小皿は会津本郷焼(流紋焼)で、個性豊かな本郷焼を紹介する生徒達手作りの冊子とともに、記念列車の乗客120名に配布しました。



(令和4年6月7日 福島民報記事より)